

お宅の水道管は 大丈夫？

～水道管の防寒対策～

気温が零下になると、防寒の不完全な水道管は凍結したり、破裂したりします。早めに防寒対策をしましょう。

保温が必要なところ

○水道管がむき出しになっているところ

○水道管が日陰にあるところ

○水道管への風当たりが強いところ

保温の方法

○水道管

保温チューブや布を巻き、その上からビニールテープを巻きます。

○水道メーター

メーターボックス内に発泡スチロールや布などを入れ

ます。(暖かくなったら取り除いてください)
破裂したときは
メーターボックス内にある止水栓をしめ、水を止めてから水道課へ連絡してください
なお、修理代は個人負担になります。



漏水を見つけたら

道路上で漏水を見つけたら、水道課へ連絡してください。

メーターボックスの清掃を

時々、メーターボックス内、その付近をきれいに清掃してください。

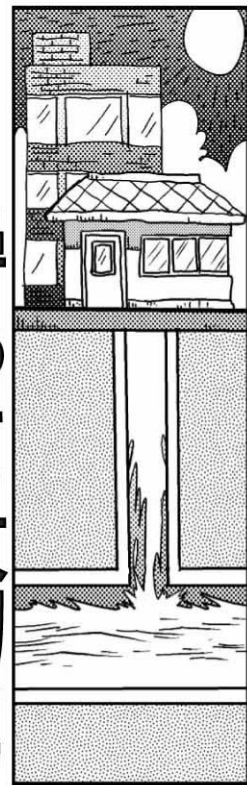
また、ボックス上には物を置かないようにしてください。検針がしやすいようにご協力をお願いします。

問合せは

経理課・水道課

☎5241まで

下水道はルールを



守って大切に

下水道は、私たちの生活環境をよくするための公共財産です。一人ひとりが、ルールを守って大切に使用しましょう。

台所では

パイプや下水道管の詰まりを防ぐために：

- 野菜くずや、ご飯の残りを流さないようにしましょう。
- 天ぷら油などの油類は、新聞紙などに染み込ませるか、油処理剤で固めて、燃えるごみで出してください。

お風呂では

トラップ(臭いを抑える装置)や排水管の詰まりを防ぐために：

トイレでは

○髪の毛や石けんなどの固形物を流さないようにし、排水口の目皿に溜まったものはこまめに取りましょう。

その他

○ガソリンやシンナーなどの揮発性の高い危険物を流さないようにしてください。爆発して大事故の原因となります。

Q&A 浄化槽編

Q トイレの芳香剤や、お風呂の入浴剤は使用しても問題ありませんか。

A 適量を守って使用している限り、浄化槽の機能に影響はありません。しかし、多量に使用すると色素によって着色することがあるので注意してください。

浄化槽への負担を減らすには
洗濯をするとき
○洗剤の適正量を守って使用しましょう

お風呂
○硫黄系入浴剤はできるだけ使用しないようにしましょう

○入浴剤やシャンプーは必要以上に使用しないようにしましょう
トイレ
○芳香剤や洗剤を必要以上に使用しないようにしましょう

問合せは

下水道課

☎2142まで